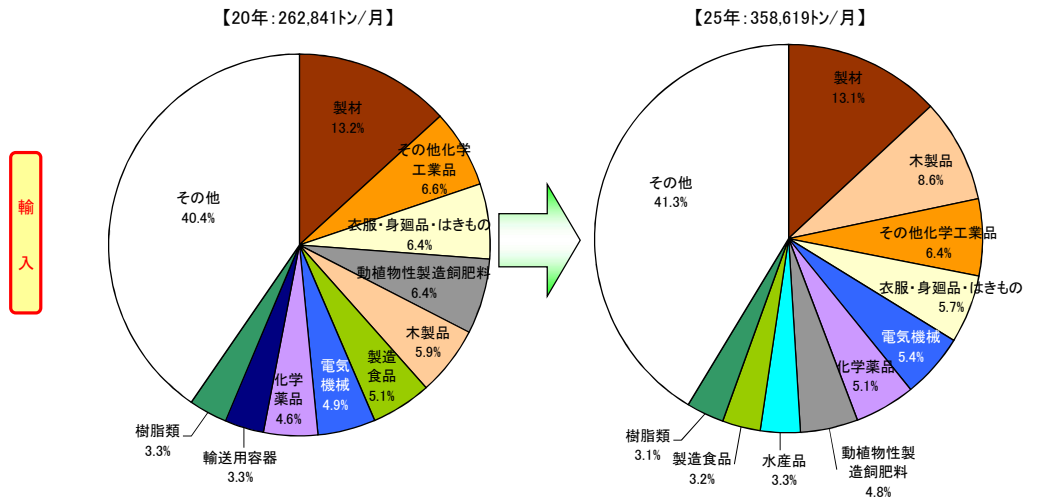
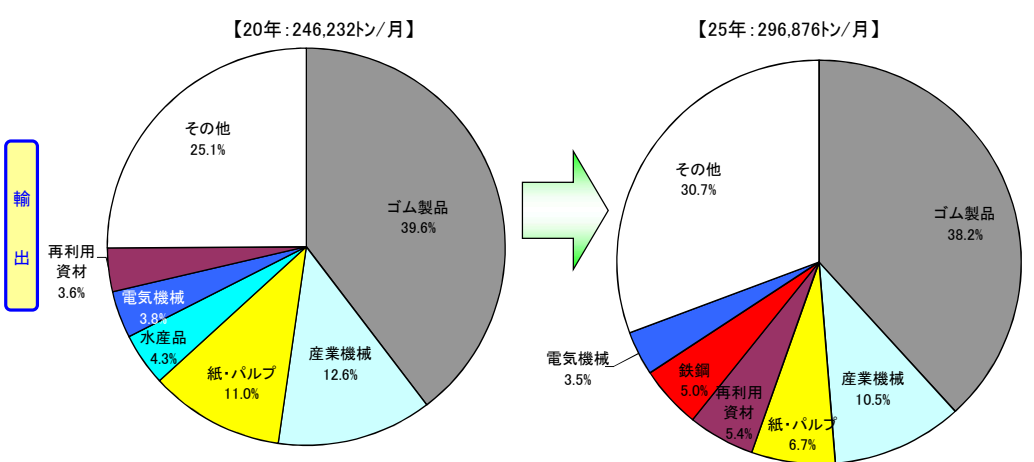


## ②東北地域の外貿コンテナ貨物における品目構成

- コンテナ貨物量については、20年調査に比べ、25年調査は輸出・輸入共に増加傾向である。
- 輸出はゴム製品、産業機械、紙パルプの順に多く、貨物量の6割弱。輸入は木製品を主体に品目が多様な傾向となっている。
- 20年調査と25年調査の品目構成の比較では、輸出については、震災の影響により、一部品目（水産品、野菜・果物等）については回復の遅れがあり、輸入については、震災後の復興需要により住宅関係の品目（製材、木製品）の割合が大きくなっている。

### 東北港湾のコンテナ貨物の品目構成

輸出 対H20年比1.21倍      輸入 対H20年比1.36倍



20年貨物量に対し増減量の多い品目

品目	増加量	品目	減少量
ゴム製品	15,890	紙・パルプ	-7,149
鉄鋼	13,659	水産品	-4,720
再利用資材	7,151	野菜・果物	-3,219
その他製造工業品	4,740	文房具・運動娯楽用品・楽器	-1,866
その他化学工業品	4,461	金属くず	-1,024

(単位:トン/月)

20年貨物量に対し増減量の多い品目

品目	増加量	品目	減少量
木製品	15,563	製造食品	-2,087
製材	12,132	非金属鉱物	-1,862
電気機械	6,410	石材	-1,336
化学薬品	6,100	原塩	-1,182
その他化学工業品	5,518	豆類	-1,177

(単位:トン/月)